

教育・研究などへの取組状況(令和7年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エレクトロニクスコース
職階	氏名
講師	安藤太一

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 令和6年度担当科目 エレクトロニクス概論(2E),工学設計演習(3E),エレクトロニクス実験1(3E), エレクトロニクス実験2(4E),センサー工学(5H),卒業研究(5H)</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点) 工学設計演習、エレクトロニクス実験1・2ではすべての授業テキストを電子化、 ホームページで公開し、提出物の管理などをGoogleClassroomで行った。工 学設計演習は授業を録画し、アーカイブとして残す事で自宅学習の支援を行っ た。</p> <p>◆ クラブ活動 ろぼっと倶楽部代表顧問 地区大会 特別賞 廃炉創造ロボコン、関西春ロボコン、DISCO ロボコン 出場</p>
研 究	<p>◆ 研究発表 (1) 差し替え可能なマイコンユニットを備えた教育用ロボットの開発と導入事 例, 安藤太一・北野慎二郎, 高専学会年会(2025/9,大阪)</p> <p>(2) 高専と地域教育の協働によるロボットプログラミング教育の推進, 関西工 学教育協会高専部会 教育研究助成成果発表会(2025/6,大阪)</p> <p>◆ 外部資金獲得状況 (1)教育研究奨励寄附金(2件)(2025)</p>
社会貢献	<p>◆ 公開講座・出前授業の取組状況</p> <p>(1)「全日本小中学生ロボット選手権【大阪府予選大会】」のためのロボット製作講習 会(小学生)(2025/8)</p> <p>(2)「全日本小中学生ロボット選手権【大阪府予選大会】」のためのロボット製作講 習会(中学生)(2025/8)</p> <p>(3)全日本小中学生ロボット選手権 大阪大会主催(2025/11)</p> <p>(4)出前授業 ロボットプログラミング 荘内南,荘内西,千成小学校(2026/1)</p> <p>(5)大阪関西万博出展協力(2025/8,9) 3件</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エレクトロニクスコース
職階	氏名
講師	安藤太一

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 令和5年度担当科目 エレクトロニクス概論(2E),工学設計演習(3E),エレクトロニクス実験1(3E), センサー工学(5H),卒業研究(5H)</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点) 新たに立ち上げとなった工学設計演習、エレクトロニクス実験1ではすべての授 業テキストを電子化、ホームページで公開し、提出物の管理などをGoogleCla ssroomで行った。工学設計演習は授業を録画し、アーカイブとして残す事で自 宅学習の支援を行った。</p> <p>◆ クラブ活動 ろぼっと倶楽部代表顧問 全国大会優勝 キャチロボバトルコンテスト、関西春ロボコン 出場</p>
研 究	<p>◆ 学術論文 (1) "廃炉創造ロボコンにおける人材育成の取り組みとその成果", 安藤太一, 土井智晴, 鈴木茂和, Isotope News 10月号(No.795)(2024/7). (2) "2023年度 FARAD 活動報告", 野田達夫 勇 地有理 安藤太一, 大阪 公立大学工業高等専門学校 研究紀要 第58巻(2025/1).</p> <p>◆ 研究発表 (1) 廃炉に向けた日本原子力学会との連携と課題9-福島廃炉に活用できるロ ボットのアイデア創出-, 第42回日本ロボット学会学術講演会(2024/9, 大阪) (2) 高専教育の特徴と現状 高専教育のオープン化, 日本機械学会 第100 期 定時総会後援会(2025/3, 大阪)</p> <p>◆ 外部資金獲得状況 関西工学教育協会研究助成(2024)</p>
社会貢献	<p>◆ 公開講座・出前授業の取組状況 (1) 「全日本小中学生ロボット選手権【大阪府予選大会】」のためのロボット製作講 習会(小学生)(2024/8) (2) 「全日本小中学生ロボット選手権【大阪府予選大会】」のためのロボット製作講 習会(中学生)(2024/8) (3) 全日本小中学生ロボット選手権 大阪大会主催(2024/11)</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育: 該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究: 該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献: 該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

<p>(4) きのくにロボットフェスティバル出展(2024/12)</p> <p>(5) 出前授業 高専ロボコン2023パフォーマンス 咲州南中学校(2025/12)</p> <p>(6) 出前授業 ロボットプログラミング 荘内南,荘内西,千成小学校(2025/1)</p> <p>◆ メディア対応等</p> <p>(1) 京都テレビ キャチロボバトルコンテスト(2024/12)</p> <p>(2) FM 栃木 出演(2025/2)</p>
--

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エレクトロニクスコース
職階	氏名
講師	安藤太一

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 令和5年度担当科目 総合工学システム概論(1年),エレクトロニクス概論(2E),電子回路 1(2E),電気機械工作実習(3H),情報処理Ⅱ(3H),CAD 設計製図(3H),基礎研究(4H),センサー工学(5H)卒業研究(5H)</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点) 新たに立ち上げとなった総合工学実験実習Ⅰではすべての授業テキストを電子化、ホームページで公開し、提出物の管理などをGoogleClassroomで行った。エレクトロニクス概論ではマイコン制御に触れ、各自のPCを使いシミュレータ上で学習を行った。</p> <p>◆クラブ活動 ろぼっと倶楽部代表顧問 全国大会優勝 第8回廃炉創造ロボコン 出場</p>
研 究	<p>◆ 学術論文</p> <p>(1) "DXマインドの気付きと動機を与える1年総合工学システム実験実習", 土井智晴 君家直之 田村生弥 安藤太一 山野高志, 大阪公立大学工業高等専門学校 研究紀要 第57巻(2024/1).</p> <p>(2) "2022年度 FARAD 活動報告",野田達夫 勇 地有理 安藤太一,大阪公立大学工業高等専門学校 研究紀要 第57巻(2024/1).</p> <p>◆ 研究発表</p> <p>(1) スカラー型産業用ロボットアームを用いた PBL 型実習の実施,Robotics Education Conference 2023(2023/7,名古屋)</p> <p>(2) Current State of Autonomous Mobile Robots and Prospects for Automation in Sterilization, OMU Symposium on "Preservation of Cultural Heritage Using Ionizing Radiation Technology"(2023/10,ベトナムダラット大学)</p> <p>(3) 廃炉プロセスにおけるロボティクス技術の導入と人材育成の取り組み, 第32回放射線利用総合シンポジウム(2024/1,大阪)</p> <p>◆ 外部資金獲得状況 科研費国際協力B(2023)</p>

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

社会貢献	<p>◆ 公開講座・出前授業の取組状況</p> <p>(7) 「全日本小中学生ロボット選手権【大阪府予選大会】」のためのロボット製作講習会(小学生)(2023/8)</p> <p>(8) 「全日本小中学生ロボット選手権【大阪府予選大会】」のためのロボット製作講習会(中学生)(2023/8)</p> <p>(9) 全日本小中学生ロボット選手権 大阪大会主催(2023/11)</p> <p>(10)きのくにロボットフェスティバル出展(2023/12)</p> <p>(11) 出前授業 ロボットプログラミング 荘内南小学校(2024/1)</p> <p>◆ メディア対応等</p> <p>(3) FM 軽井沢 出演(2024/2)</p> <p>(4) NHK 大阪 ほっと関西出演(2024/3)</p>
------	---

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載